

駒澤大学4-4法政大学



4得点するも
ディフェンス崩壊し、ドロー！

法政大に決められ、
落ち込む駒大イレブン
(撮影；小金沢 遼)

9月29日 11時30分 東海大学湘南校舎サッカー場

駒大 4 (3-2) 4 法大
(1-2)

得点者 (アシスト)

[駒]31分 久永(小牧) [法]23分 田代(高橋)
[駒]33分 小牟田 [法]42分 松田(岩淵)
[駒]38分 小牟田(大木) [法]77分 松本
[駒]84分 吉岡(キム) [法]90分 松本(深町)

KOMAZAWA

GK②野村 政孝(4)
DF③田中 雄一(4)
DF⑤伊藤 慎人(3)
DF④平尾 優頼(3)
DF⑬大木 暁(3)
MF⑥若山 瞭太(4)
MF⑦碓井 鉄平(4)
MF⑪小牧 成亘(3)
(65分⑦キム デセン(1))
MF⑫久永 翼(2)
(60分⑩吉岡 雅和(1))
FW⑨小牟田 洋佑(3)
FW⑩立石 忠之(2)
(60分⑧溝口 祐真(3))

S U B

GK②榎山 昇吾(4)
DF②友廣 壮希(4)
MF⑫川岸 祐輔(3)
MF⑫児玉 卓也(1)

MANAGER

秋田浩一

HOUSEI

GK①四宮 裕貴(3)
DF②宗近 慧(3)
DF⑩森保 翔平(4)
DF⑫田代 雅也(4)
DF⑬永戸 勝也(1)
MF⑥星 雄次(3)
MF⑤岩淵 貴哉(4)
(65分⑧大野 瑞樹(4))
(75分⑦村野 和真(4))
MF⑬松田 有平(3)
MF⑭白石 智之(2)
(88分⑨深町 健太(4))
FW⑭松本 大輝(4)
FW⑮高橋 健哉(3)

S U B

GK②田村 昇大(4)
DF③岡 直樹(4)
DF⑬木村 高彰(4)
FW⑩鈴木 貴大(1)

MANAGER

大石和孝

[シュート]7:11 [GK]7:7 [OK]7:6 [直接FK]17:17
[間接FK]2:7 [主審]松澤 慶和 [観衆]164人

警告 (0) / 退場 (S)

57分 小牟田洋佑 C4 繰返違反
70分 キム デセン C2 ラフ
76分 大木暁 C1 反スポーツ

果たしてこの勝ち点1は
どう左右されるだろうか？

前節の東海大戦では、安定した守備と後半66分に立石の決勝弾で、1-0でなんとか勝ち点3を得た。この流れで、後期3勝目を狙う駒大。だが、相手はただいま首位をキープしている東国大に6-1と快勝を挙げた法政大である。その爆発的得点力で最も勢いがあり、対して山本をまたも怪我で欠けた駒大は試合に挑んだ。

立ち上がりから法政大に何度もチャンスを作られ、攻め込まれる。そして、22分にはヘディングで先制点を許してしまう。しかし、ここから駒大イレブンの怒涛の反撃が始まる。31分に小牧がサイドから切り込み、低めのクロスを久永が決め、同点。2分後の33分には小牟田が冷静に技ありの左足でゴールを決め、逆転。38分に大木のFKから小牟田がヘディングで押し込み、2点差とする。これで小牟田は10得点と2部得点ランキングで首位となった。

42分には、ディフェンスで相手選手を囲んでいるにもかかわらず、パスワークで隙を突かれ、で2失点する。この前半終わりの失点が試合を動いた。後半開始から試合は均衡し、野村のセーブでピンチを救う場面などあり、途中交代の吉岡が相手のミスからチャンスを作るもシュートを外す。77分に大木が対応に遅れ、PKを献上してしまう。そのPKを決められ、またも同点と追いつかれる。84分に途中交代のキムと吉岡が見せる。カウンターで、碓井からサイドに広がったキムが低めのクロスをニアサイドの吉岡が軽く合わせ、駒大4点目。これで、試合終了だと誰もが思った。そう思った90分に技ありと言える個人技で止めきれずに4点目と追いつかれ、試合終了。ここ最近終了間際の失点が多いと感じられる。次節の拓殖大との戦いでは、この4失点をどう修正していだろうか。そこを注目していきたい。

(釘宮 和希)